

はじめに

宮城学院女子大学キリスト教文化研究所共同研究「多民族社会における宗教と文化」は、2019年度の活動として、下記の通り計4回の研究会を開催した。3月に開催された2回の研究会については、本来は公開研究会として企画されたが、新型コロナウイルス問題への対応により、非公開での実施となった。また、残念ながら、企画されながら中止せざるを得なかった研究会もあった。

8月24日（土）13：30～18：00 公開研究会「不確実性をめぐる人類学的考察」

発表者：井口 暁氏（日本学術振興会特別研究員 PD）

吉直佳奈子氏（東京大学大学院総合文化研究科博士課程）

阿由葉大樹氏（東京大学大学院総合文化研究科博士課程）

碓 陽子氏（明治大学政治経済学部）

コメンテーター：渡邊日日氏（東京大学大学院総合文化研究科）

会場：宮城学院女子大学 C506教室（講義館5階）

1月31日（金）13：00～18：00 公開研究会

発表者：ゴクテ・マヘーシュ・マドウ氏（京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科）

A Tale of Two Maps:

A Study of British Cartography Practice and the Spatial Visualization of Varanasi

発表者：木曾恵子氏（日本学術振興会/宮城学院女子大学非常勤講師）

「東北タイ農村のエイジングとジェンダー：移動者を支える高齢女性の事例から」

コメンテーター：南出和余氏（神戸女学院大学准教授）、松尾瑞穂氏（国立民族博物館准教授）

会場：宮城学院女子大学 A549教室（人文館5階）

3月4日（水）14：00～16：00 および8日（土）14：00～17：00

非公開研究会「観光人類学のフィールドワーク」

発表者：小河久志（金沢星陵大学准教授）、碓 陽子（明治大学専任講師）、東賢太朗（名古屋大学准教授）

会場：宮城学院女子大学 C506教室（講義館5階）

『多民族社会における宗教と文化』の今号では、新型コロナウイルスの影響で開催が叶わなかった研究会で報告予定だった内容を吉井千周氏に、またインドの文化をテーマとする新たな報告を八木祐子氏に、それぞれ論文として寄稿していただいた。年度末になって深刻化した新型コロナウイルスの問題もあり、編集作業が例年より遅れて執筆には多くのご苦勞をかけたことを、お詫びしたい。

共同研究代表 市野澤潤平